

特定非営利活動法人
市岡国際教育協会 日本語教室

- 場所 大阪府立市岡高校同窓会館
- 日時 金曜日午後7時から約2時間
- ボランティア参加費
入会金 1,000円
年会費 3,000円
- 学習者は無料

発行人/市岡国際教育協会理事長 吉田徳夫 /編集/広報係
大阪府港区市岡元町2-12-12 TEL/FAX: 06-6582-0348

現在、29カ国の学習者と交流しています。

市岡国際教育協会・日本語教室は、大阪府立市岡高校定時制の閉鎖を受けて、働きながら学ぶ「定時制の灯」を消したくないと定時制の同窓会が中心となり 1996年5月にスタートしました。現在はNPO市岡国際教育協会が運営し、市岡高校同窓会に後援して頂いております。

URL: http://1-max.net/~ichioka_i18n/

七夕まつり 今年も好評でした

今年も恒例の七夕まつりが行われました。ハーモニカバンドによる七夕の歌の演奏、合唱。外国人学習者への浴衣の着付け。綺麗な紙を使ったの笹飾り。学習者さんたちは、大変楽しそうに過ごしていました。毎日新聞が取材に來られ、翌日(7日)の朝刊にこのように掲載されました。

浴衣(ゆかた)の着付け

一緒に歌を歌ったり、笹かざりを作るのも楽しいのですが、私は浴衣の着付けの手伝いをしていたという事もあり、沢山の学習者の方に浴衣を着てもらえたことがとても嬉しかったです。昨年は数える程度の人にしかな着せる事が出来ませんでした。今年も沢山の皆さんに浴衣を着てもらえました。

浴衣を着る前、恥ずかしそうに言われていた方もいざ着付けが終わると、「私、似合いますか?」「日本人みたいですか?」「可愛いですね」「暑いけど、とても綺麗ですね!」と、携帯で写真を撮ったり、友達に見せようと2階へ行ったり、とても嬉しそうでした。

浴衣が大好きな台湾の女の子も、「これ、わたしの浴衣なんです。今日着てきました」と教えてくれました。

また七夕イベントが終わってからも「ついに浴衣を買ってしまいました。天神祭で着るつもりです」と教えてくれる学習者もいたり、ほんの少しの時間でしたが、手伝いが出来て本当に良かったと思えました。

笹の用意、事前のセッティング、後片付け、浴衣の提供、バンドの皆さん、イベント係の皆さん、誰が欠けてもこんなに楽しい七夕イベントは出来なかつたと思います。

日々の日本語の勉強も大切ですが、こんな風にみんなで一緒に何かをし、思いっきり楽しむ、これが一番素敵な交流なのかも知れないと改めて痛感しています。

市岡日本語教室でのボランティアも気がつけばもう3年目。3年目になってまだまだ甘えてばかりです、今も毎

中国・台湾では

回勉強の連続です。誰かがやってくれるだろう、誰かが何とかしてくれるだろう、という甘えを少しずつ直し、これからも引き続き少しでもお役に立てたらと思っています。
(藤原愛子)

中国、台湾、韓国など、東アジアの国々では、伝統行事は旧暦で祝うのが一般的です。

新暦の七月七日は中国では日中戦争のきっかけとなった盧溝橋事件の起こった日として知られています。反日デモが行われたり、記念の集会が行われたりと、歴史に目を向ける日です。歴史にあまりにも無関心な日本と、過敏すぎる中国との落差を感じる日でもあります。

旧暦(農曆)の七月七日は台湾でも七夕ですが、台湾では「情人節」と呼ばれ、恋人たちの日です。「情人」は「恋人」の意味。日本と同じような伝説が残っているのですが、本来の恋の伝説が大切にされています。一般的なお願いを短冊に書いてはしらないそうです。
(札葉正隆)



【毎日新聞より】

七夕まつり...外国人ら120人「願いごとかなってネ」/大阪

NPO法人「市岡国際教育協会」(大阪府港区)が6日、同区の市岡高校同窓会館で七夕まつりを開いた。同協会で日本語を学ぶ在住外国人ら約120人が参加。紫色の鮮やかな浴衣に袖を通した羅品さん(19)。「台湾」は「少し帯がきついで、楽しい気分」と笑顔を浮かべていた。

同協会は同高校定時制の卒業生らが中心となって96年に発足。毎週金曜の夜に、インドネシアや台湾など約20カ国から来た在住外国人が日本語を学ぶ。七夕まつりは恒例行事で、浴衣の着付けなど、日本文化に触れてもらうのが狙い。

短冊に「日本語が上手になりますように」と書いたナナン・ヌルタウウィクさん(25)。「インドネシア」は「面白い習慣。願いごとかなうといいね」とにっこり。七夕にちなんだ歌を合唱し、終始ご機嫌だった。【平川哲也】

毎日新聞 2007年7月7日

学習者募集中!

日本語をべんきょうしたい外国人のみなさん、市岡にはほんごきょうしつは生徒をばしゅうしています。まいしゅう金ようび、よる7時から8時30分まで。お金はいりません。予約もいりません。来たいときに、いつでもきてください。でんわ 090-8482-1177 ふだば まで e-mail: ichioka_nihongo@hotmail.com

(賛助広告)

並松町世話人
平成19年度交渉係責任者
松原英夫

<http://sensyu.net/k>
是非一度御覧くださりませ。
平成十九年八月吉日